

- 問1 明治政府が「殖産興業」の政策を推し進める中で、主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を目的として、関東地方北部の群馬県に設立した官営模範工場の名称として正しいものを選択してください。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 八幡製鉄所 2. 長崎造船所 3. 足尾銅山 4. 富岡製糸場
-
- 問2 自由民権運動の展開において、1880年に「国会期成同盟」が結成されたことによる影響や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
1. 激化事件と呼ばれる農民暴動が各地で頻発したため、運動は衰退に向かった。 2. 政府が「国会開設の勅諭」を出したことで、運動の目的が達成され組織は解散した。 3. 西南戦争の敗北を受けて、武力ではなく言論によって政府を追及する運動が始まった。 4. 土族中心だった運動に豪農や商人が加わり、全国規模の組織的な国会開設運動へと発展した。
-
- 問3 明治時代、西洋の文化や思想が流入する中で日本の近代文化が発展しました。ドイツへの留学経験を背景に、小説『舞姫』を執筆し、軍医としての職務の傍らで日本の近代文学の確立に大きな足跡を残した文学者は誰ですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. 森鷗外 2. 夏目漱石 3. 芥川龍之介 4. 樋口一葉
-
- 問4 1895年、日清戦争の講和条約である下関条約によって日本が一度は獲得したものの、ロシア・ドイツ・フランスの3国からの要求を受け入れて、清に返還することになった地域はどこですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 台湾 2. 澎湖諸島 3. 山東半島 4. 遼東半島
-
- 問5 明治政府は、欧米の列強に対抗できる国力を作るため、1872年の鉄道の開通や官営模範工場の設立など、近代産業を育成する政策を推し進めました。この政策を何といいますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 殖産興業 2. 版籍奉還 3. 地租改正 4. 文明開化
-
- 問6 福沢諭吉が提唱した「啓蒙思想」の説明として、当時の社会背景を踏まえた内容として最も適切なものはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 欧米の文化を拒絶し、日本古来の天皇中心の政治を復活せよとする考え方 2. 伝統的な儒教教育を重視し、武士道の精神を国民に広めようとする考え方 3. 政府の方針に反対し、納税や徴兵といった国民の義務を否定する考え方 4. 個人の自立と実学の習得によって、近代的な国家を築こうとする考え方
-
- 問7 自由民権運動の激化を受けて、明治政府は1881年に「国会開設の勅諭」を出し、10年後の国会開設を約束しました。これに合わせ、国会での政治活動を見越して板垣退助を党首として結成された組織はどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
1. 自由党 2. 立憲改進黨 3. 日本社会党 4. 立憲政友会
-
- 問8 1894年の日清戦争から1905年の日露戦争にかけて、日本を取り巻く国際情勢は激しく変化しました。この時期に起こった次の4つの出来事について、時系列として正しい並び順になっているものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 日英同盟の締結 → 三国干渉 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦 2. 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 義和団事件 → 日露戦争の開戦 3. 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦 4. 義和団事件 → 三国干渉 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦
-
- 問9 中国の革命家である孫文が東京で活動していた1905年に、日露戦争を終結させる目的でアメリカの仲介によって日本とロシアの間で結ばれた講和条約は何ですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. サンフランシスコ平和条約 2. ポーツマス条約 3. 北京条約 4. 下関条約
-
- 問10 1890年の第一回帝国議会から1912年の第一次護憲運動に至る明治時代後半の出来事について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 関東大震災による被害からの復興のため、帝都復興院が設置され近代的な都市整備が行われた。 2. フランスの技術を導入して群馬県に富岡製糸場が建設され、生糸の輸出拡大に貢献した。 3. 日清戦争の賠償金を資金の一部として北九州に八幡製鉄所が建設され、重工業発展の基礎となった。 4. 被差別部落の解放を目指し、京都で全国水平社が創立され、人権を求める運動が展開された。
-
- 問11 1902年に日本とイギリスとの間で軍事同盟が結ばれた背景には、両国が共通の脅威を感じていたある国の動きがありました。この時、日本とイギリスが最も警戒し、対抗しようとした動きはどのようなものですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. ドイツによる中国大陸の植民地化 2. ロシアによる東アジアへの南下政策 3. アメリカによる太平洋への勢力拡大 4. 清による朝鮮半島への軍事的圧力
-
- 問12 1894年の日清戦争開始から、1904年の日露戦争開始までの約10年間に起こった社会・経済の出来事として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 群馬県に富岡製糸場が設立され、生糸の増産が図られた。 2. 官営の八幡製鉄所が操業を開始し、重工業の発展を支えた。 3. 小村寿太郎が調印した講和条約の内容に不満を持つ民衆が、日比谷焼打ち事件を起こした。 4. 土地の所有者に地券が発行され、地価に応じた現金での納税が始まった。
-
- 問13 明治時代初期に、欧米の制度や技術が導入されることで起こった「文明開化」と呼ばれる社会現象について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 国民に情報を広く伝えるため、東京放送局によるラジオ放送が開始された。 2. 前島密らによって近代的な郵便制度が整えられ、新橋・横浜間で鉄道が開通した。 3. 都市部を中心に活動写真（映画）が普及し、民衆の新しい娯楽として定着した。 4. 江戸時代からの伝統を維持するため、飛脚による通信網をさらに強化した。
-
- 問14 日露戦争の講和条約において、日本側の全権として調印した人物と、その条約で日本が認めさせた内容の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 小村寿太郎が全権として交渉し、韓国における日本の優越権を認めさせた。 2. 小村寿太郎が全権として交渉し、関税自主権の完全な回復を認めさせた。 3. 陸奥宗光が全権として交渉し、遼東半島の割譲を認めさせた。 4. 伊藤博文が全権として交渉し、ロシアからの多額の賠償金獲得を実現した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 富岡製糸場	明治政府は、外貨を獲得するために生糸の輸出を重視していました。そこで、西洋の技術を導入して品質を安定させるため、日本初の本格的な器械製糸工場を建設しました。これは当時の政府が掲げた、産業を育成する「殖産興業」の代表的な取り組みです。
問2	答え 4 士族中心だった運動に豪農や商人が加わり、全国規模の組織的な国会開設運動へと発展した。	自由民権運動は、当初の「不平士族」による特権回復の要求から、地租改正への不満を持つ「豪農」や都市の知識層などが加わる形へと変質していきました。1880年の国会期成同盟の結成は、こうした層が全国的に連帯し、組織的な請願運動を行う体制が整ったことを示しています。これにより、政府は翌年の「明治十四年の政変」を経て、国会開設を約束せざるを得ない状況に追い込まれました。
問3	答え 1 森鷗外	明治時代は欧米の思想や文学が積極的に紹介され、日本の近代文化が形作られた時期です。森鷗外はドイツへの留学体験をもとに、ロマン主義的な傾向を持つ『舞姫』などの作品を発表しました。同時期には『吾輩は猫である』や『坊っちゃん』を著した夏目漱石も活躍しており、二人は当時の文壇を牽引した代表的な文豪として知られています。
問4	答え 4 遼東半島	日清戦争に勝利した日本は、下関条約で遼東半島、台湾、澎湖諸島の割譲を受けました。しかし、東アジアへの進出を狙うロシアは、日本が大陸の拠点である遼東半島を領有することに強く反対し、ドイツとフランスを誘って日本に圧力をかけました。当時の日本にはこれに対抗する力がなかったため、要求を受け入れて遼東半島を清に返還しました。これが三国干渉です。
問5	答え 1 殖産興業	明治政府が「富国强兵」を実現するために、経済的な基盤となる近代産業を育てようとした一連の政策を指します。政府は富岡製糸場などの官営模範工場を建設したり、鉄道や郵便といった通信・交通網を整備したりすることで、日本の近代化を加速させました。
問6	答え 4 個人の自立と実学の習得によって、近代的な国家を築こうとする考え方	福沢諭吉は、読み書きや計算といった生活に役立つ「実学」を学ぶことで国民一人一人が賢くなり、精神的に自立することが、欧米列強に対抗できる強い独立国家を作るために不可欠であると主張しました。これは文明開化期における重要な指針となりました。
問7	答え 1 自由党	政府が10年後の国会開設を公約したことにより、運動側は議会での論戦に備える必要が生じました。これを受けて板垣退助はフランスの思想などの影響を受けた自由党を結成しました。なお、大隈重信を党首として結成されたのは立憲改進党です。
問8	答え 3 三国干渉 → 義和団事件 → 日英同盟の締結 → 日露戦争の開戦	日清戦争の講和条約である下関条約の直後（1895年）、ロシア・ドイツ・フランスが遼東半島の返還を求めたのが三国干渉です。その後、清で排外主義運動である義和団事件（1900年）が起こり、これに出兵したロシアが満州に駐留し続けたため、日本は1902年にイギリスと日英同盟を結んでロシアに対抗し、1904年の日露戦争へと至りました。
問9	答え 2 ポーツマス条約	日露戦争は、日本とロシアの両国にとって戦費や兵員供給の面で継続が困難な状況に陥っていました。そこで、当時日本との関係を深めていたアメリカの大統領セオドア・ルーズベルトが仲介に入り、アメリカのポーツマスで講和会議が開かれました。同年には孫文が東京で中国同盟会を結成するなど、アジアの情勢が大きく動いていた時期でもあります。
問10	答え 3 日清戦争の賠償金を資金の一部として北九州に八幡製鉄所が建設され、重工業発展の基礎となった。	日清戦争（1894年～1895年）の講和条約である下関条約で得た賠償金を主な財源として、1897年から北九州での建設が始まり、1901年に操業を開始しました。これにより、それまでの繊維工業（軽工業）中心だった日本の産業構造が、鉄鋼などの重工業へと発展する大きな足がかりとなりました。富岡製糸場は明治初期の1872年、全国水平社は1922年、関東大震災は1923年の出来事であり、時期や内容が異なります。
問11	答え 2 ロシアによる東アジアへの南下政策	19世紀末から20世紀初頭にかけて、ロシアは満州（中国東北部）や朝鮮半島への進出を強める「南下政策」を推し進めていました。これに対し、東アジアでの利権を守りたいイギリスと、朝鮮半島への影響力を確保したい日本の利害が一致し、日英同盟が締結されました。当時のイギリスは「栄光ある孤立」と呼ばれる同盟を結ばない外交方針をとっていましたが、ロシアの脅威に対抗するためにこの方針を転換したという背景があります。
問12	答え 2 官営の八幡製鉄所が操業を開始し、重工業の発展を支えた。	1894年から1904年の期間は、日清・日露の両戦争に挟まれた近代化の進展期にあたります。八幡製鉄所の操業開始は1901年であり、この期間の出来事として合致しています。富岡製糸場の設立（1872年）や地租改正（1873年）は明治初期の出来事であり、日比谷焼打ち事件は日露戦争後の1905年の出来事であるため、時代背景が異なります。
問13	答え 2 前島密らによって近代的な郵便制度が整えられ、新橋・横浜間で鉄道が開通した。	明治政府は「富国强兵」や「殖産興業」を推進するため、欧米の進んだ技術を積極的に導入しました。1871年にはそれまでの飛脚に代わる近代的な郵便制度が開始され、翌1872年には新橋・横浜間で日本初の鉄道が開通しました。ラジオ放送の開始は正統時代、映画（活動写真）の本格的な普及は明治後期以降であり、これらは文明開化の初期段階とは区別されます。
問14	答え 1 小村寿太郎が全権として交渉し、韓国における日本の優越権を認めさせた。	ポーツマス条約では、外務大臣であった小村寿太郎が全権として交渉にあたりました。この条約により、日本は韓国（大韓帝国）に対する指導権・優越権を認めさせたほか、南樺太の割譲や、長春以南の鉄道利権などを獲得しました。しかし、ロシアからの賠償金を得ることはできなかったため、帰国した小村は国内で激しい批判を受けることとなりました。